

読書の小径

Vol.109
土岐市図書館
☎1253

新刊案内

「うみのおまつり どどんとせ」
さとうわきこ



「わるいことが
したい！」
沢木耕太郎



ご家庭にあった本	岡崎武志
ベストドライブ 東海・北陸・信州	まっぴる
若者が無縁化する	宮本みち子
笑う、避難所	頓所直人
日本人はどう住まうべきか？	養老孟司・隅研吾
向井理、ビストロ修行	向井理
韓国国立中央博物館の至宝	呉明淑
奈落の顔	澤田ふじ子



「天文ショー」

いよいよ今月21日、日本の太平洋側の広い地域で金環日食が見られます。土岐市では、中心食線（日食帯の中心線）から離れているため偏ったリングに見えます。市役所付近では午前7時30分17秒から金環が開始し、3分35秒程度継続するようです。この天体ショーにちなんで、今月は天文や宇宙に関する本を紹介しましょう。

別冊宝島『天体ショーへようこそ!』。今年は今環日食だけでなく、部分月食や、今回見逃すと次は2117年まで見られないという「金星の太陽面通過」といった珍しい現象もあります。本書はそうした注目の天体ショーのほか、彗星や流星群、季節ごとの星座などの記事が満載。一年を通して星空が楽しめるガイドブックです。

石田五郎『天文屋渡世』は、岡山の天体観測所での日々の記録『天文台日記』で知られる著者の全貌を伝えるエッセイ集です。星に姿を変えたギリシア神話の神々から、正倉院の御物、落語「時そば」の与太郎まで、古今東西の文学や美術、芸能に登場する天体のエピソードなど、飄々たる滋味溢れる筆致で綴られます。

「朝日おとなの学びなおし!」シリーズの一冊、藤田貢崇『137億光年の宇宙論』は、惑星探査、ダークエネルギー、地球外生命体など、最新情報を分かりやすく解説します。「地球から宇宙を探る」から始まり、太陽、惑星、銀河系、銀河系の外へと視野を広げていきます。

6月の休館日

4日(月)・11日(月)・18日(月)・22日(金)・25日(月)

開館時間

火～金曜日 10:00～19:00
土・日曜日、祝日 10:00～17:00

図書館は無料でご利用いただけます。

お知らせ

図書館では、本を借りに図書館まで出掛けるのが難しい方のために、各地域の公民館など身近な施設（市内13カ所）まで本をお届けする「予約図書配本サービス」を行っています。最寄りの施設まで取りに行き、読み終わったら同じところに返していただければ結構です。詳しくは図書館まで問い合わせください。